

振り分けプロトコール小児用

SpO₂

(12歳以上は成人と同様の対応でよい)

重症 90%以下 中等症II 91-93% 中等症I 94-95% 軽症 96%以上



酸素投与ができるコロナ入院施設(県立延岡病院小児科)



コロナ入院施設/宿泊療養施設

症状

小児アセスメントトライアングル(PAT)

意識状態 意識レベル低下、視線が合わない、活動性(自発的会話)低下等

呼吸状態 喘鳴、努力性呼吸、陥没呼吸の出現等

循環状態 顔面蒼白、チアノーゼ出現等



どれか一つでも該当
するときは入院加療
が望ましい

重症化のリスク

生後5か月未満児

先天性の基礎疾患がある児

1歳未満の早産児(超低出生体重児)

全身状態良好であれば経過観察でよいが、哺乳量低下、啼泣が弱い、
高熱(39度以上)持続、不機嫌・元気がない→いわゆるnot doing well
等を認めるときはコロナ入院施設/宿泊療養施設で対応

参考 日本小児科学会 予防接種・感染症対策委員会作成 小児COVID-19 軽症から中等症の治療フローチャート

※小児患者の入院には必ず保護者の付き添いが必要なためご家族の状況を踏まえて最終的に判断する